

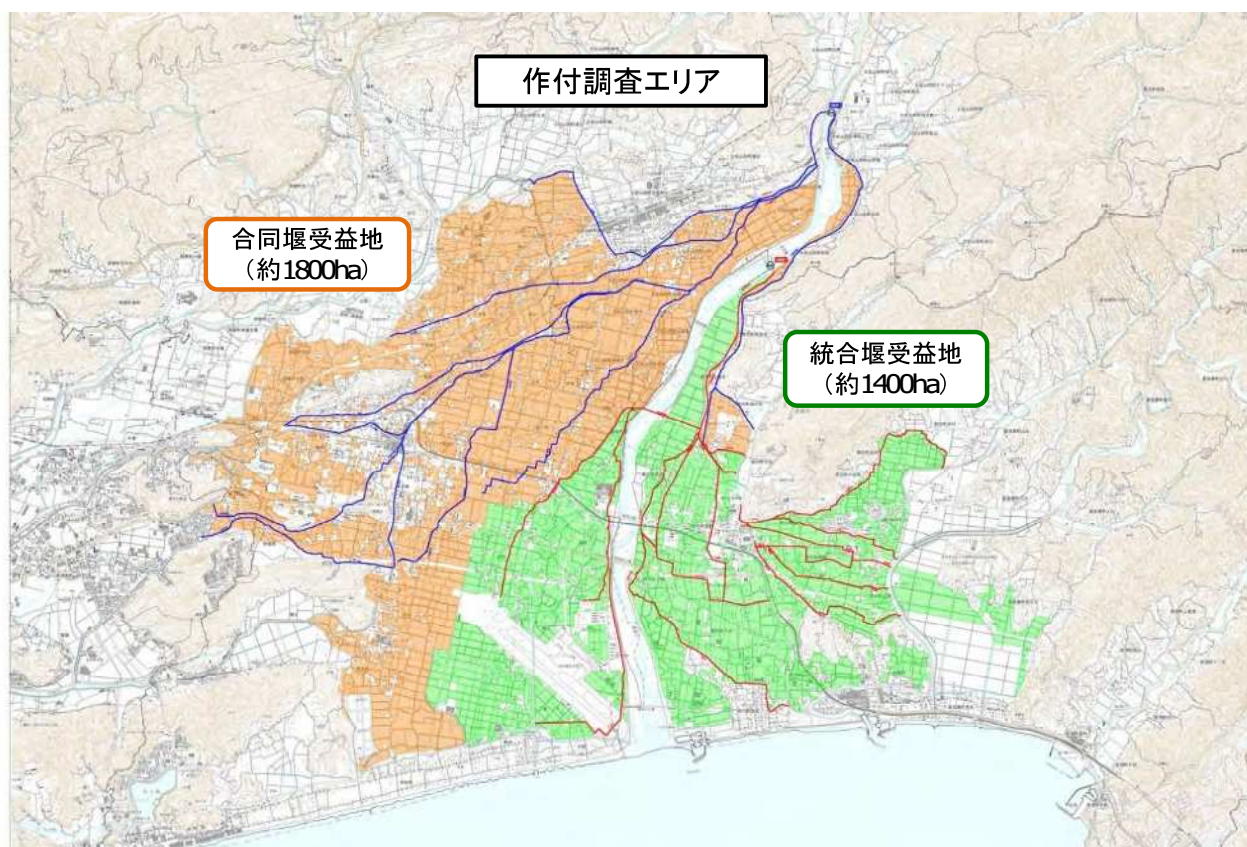
水利権更新のための作付実態調査について紹介します

今回紹介する団体：水土里ネット高知

取組概要

内容：県が許可を受けている農業用水（受益面積約1400ha, 1800ha）の水利権更新において、必要用水量確認のため筆単位で作付品目の調査を行い受益地内のブロック（井筋・取水口）ごとに品目別の面積を集計し、GIS上でマップを作成。

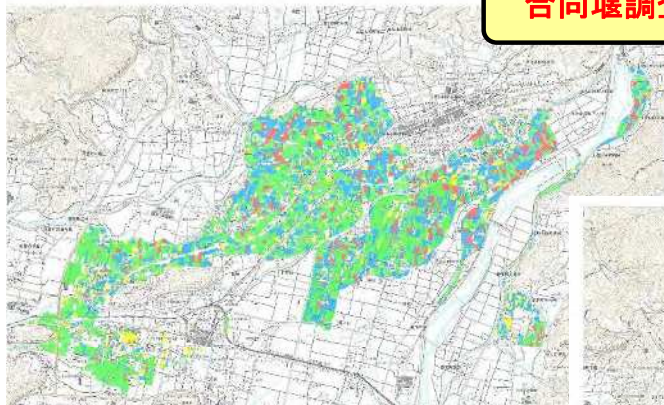
経緯：当該受益地では近年、公共事業や宅地化等に伴う農地転用が進行している。このため、各堰掛かりの受益地を2分割し隔年で調査を行い、農地の作付実態を3作分、トータル6年間に渡り調査を実施する。調査結果を基に、必要用水量の算出及び検証を行い、冬期の水路維持用水量決定の参考とする。平成30年度に調査をスタートし、本年度は昨年引き続き2作分の調査を行うこととしている。



取組による効果

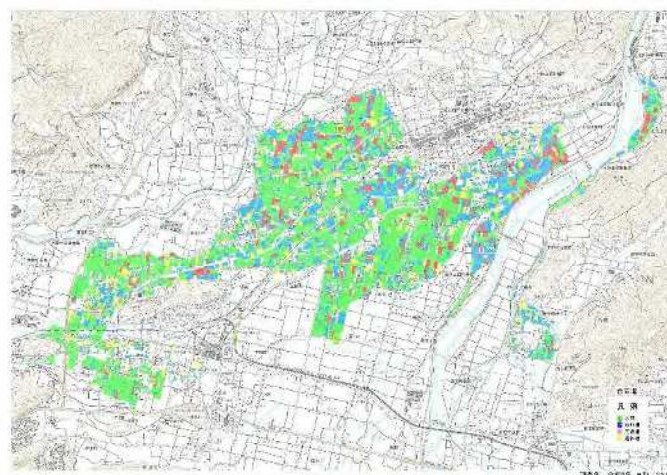
- ①受益農地の作付実態が可視化され、経年変化の短期作付状況の変動や面積の集計が容易に行える。
- ②作付データの蓄積により、水利権更新に向けた協議等に要する期間が大幅に短縮。

合同堰調査マップ



平成30年度調査

令和2年度調査



※調査票は作物毎に集計を行い、マップは作付状況を単位に色分けしている

今後の活用予定

- ①広域な作付実態調査を継続することで、今後の戦略的な生産計画が可能。
- ②蓄積した作付情報について関係団体とも共有を図り、地域農業の発展に活用。

GISシステムのバージョン情報

GISアプリ : 水土里Maps7.1Ver1.5

GISエンジン : SIS7.1SR3

■お問い合わせ先

高知県土地改良事業団体連合会 事業課 水土里情報係 088-823-5576